

2017年12月29日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部
実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* (No. B-50)
「実践女子大生における手帳の実態」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会では、「実践女子大生における手帳の実態」について、写真観察法を用いて実践女子大生の実態を調査し、写真からわかる女子大生の手帳の使用方法について考察を行いました。

観察調査結果のポイント

(1) シンプルな手帳をカスタマイズが大半。

今回の調査では、シンプルなデザインの手帳をシールや色分けなどでカスタマイズしている人が多いことがわかった。書き込み方へのこだわりや、自分なりの記号やマークでわかりやすくしている人が多かった。見栄えを重視し配色やイラストなどに気を使う人が、使いやすさ重視で文字量が多い人で分かれているように思われる。

(2) 手帳に挟み込むモノは、「趣味」のアイテムが、書き込みは1色が多数。

挟んでいるものは、シールやペンよりも、趣味のものを入れていた人が多かった。書き込みに関しては、黒または1色が多く見られた。

(3) 手帳の需要は未だ衰えず。

スケジュールアプリが普及する中、手帳の需要は未だに衰えていないと考えられる。

本件調査担当

実践「ペルソナ」研究会

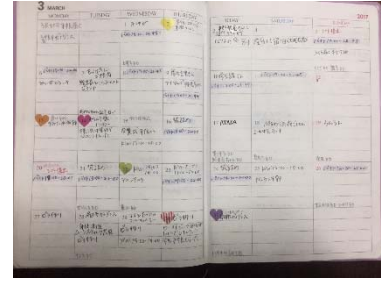
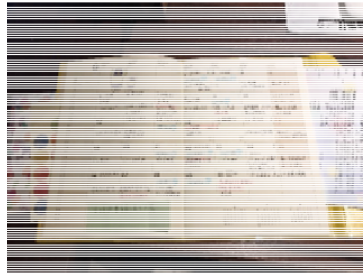
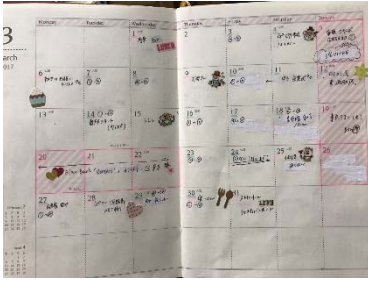
3年 萬羽 なつみ

3年 牛上 穂南

3年 小野 詩織

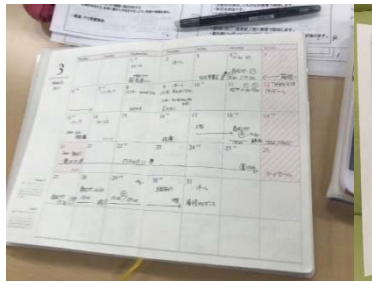
観察調査結果

(1) シール・付箋等によりカスタマイズしている手帳

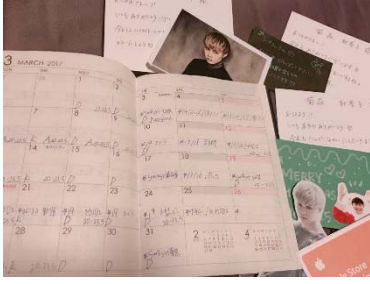


(2) 手帳に挟み込むモノ

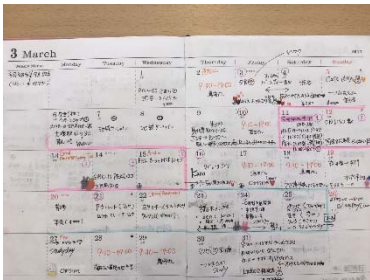
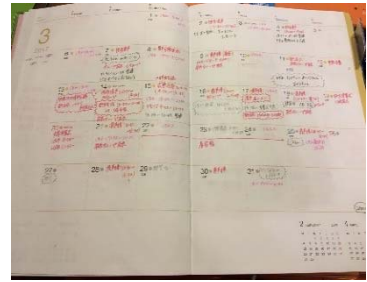
【「趣味」のアイテム】



【写真】



(3) 書き込みが多い手帳



(4) 色分け

